
「不要、過剰なサービスが多い」8割以上 使い捨てプラスチック製品や容器包装に関する意識調査

国際環境NGOグリーンピース・ジャパン（東京都西新宿区、以下グリーンピース）は、市民の「使い捨てプラスチック製品や容器包装への意識」を把握するために、国内在住の1000人（18歳～79歳 男女500名ずつ）を対象にインターネットを通じて調査を行いました。

<調査概要>

対象：国内在住の1000人を対象に18～79歳で10代刻み（10代は20代に換算）の男女の人口構成比に合わせて実施

地域：すべての都道府県

方法：グリーンピースが楽天インサイト株式会社に委託してオンラインで実施

時期：2020年9月25日（金）～2020年9月27日（日）

有効回答数：1000サンプル

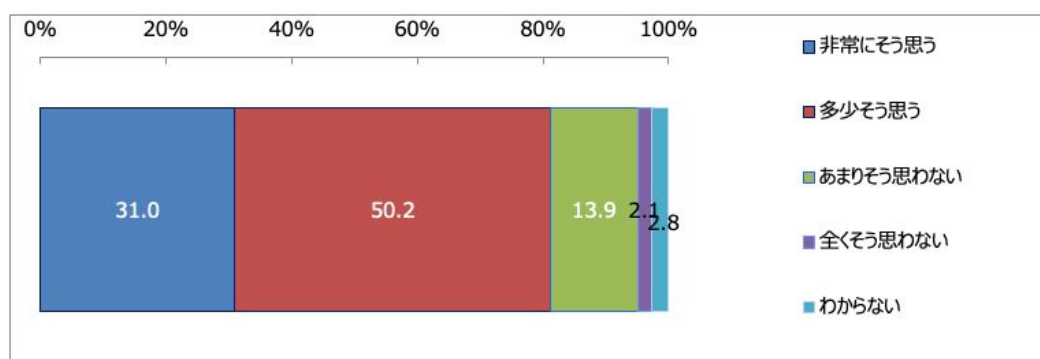
<調査結果の概要>

- 「不要な使い捨てプラスチック製品や過剰包装のサービスが多い」と感じている人は、「非常にそう思う」「多少そう思う」を合わせて全体の81.2%
- もっとも回答の多かった不要、過剰なサービス
 - 1位「肉や魚用のトレー」（39.5%）
 - 2位「菓子の個包装」（38.1%）
 - 3位「ダイレクトメールやパンフレットなどのプラスチック製袋」（33.5%）
 - 4位「テイクアウト時の容器や包装」（29.2%）
 - 5位「果物の容器や緩衝材」（26.7%）（19事例のうち5つまで選択）
- 「もし衛生面、価格、利便性などに問題がなく、このような使い捨てプラスチックを使わないための選択肢がもっと身近にあるならば、利用してみたい」人は、「非常にそう思う」「そう思う」を合わせて、全体の74.8%

- 「日本でもレジ袋の有料化だけでなく、他の使い捨てプラスチック製品について、使用規制や有料化を進めるべき」と思う人は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせて全体の62%

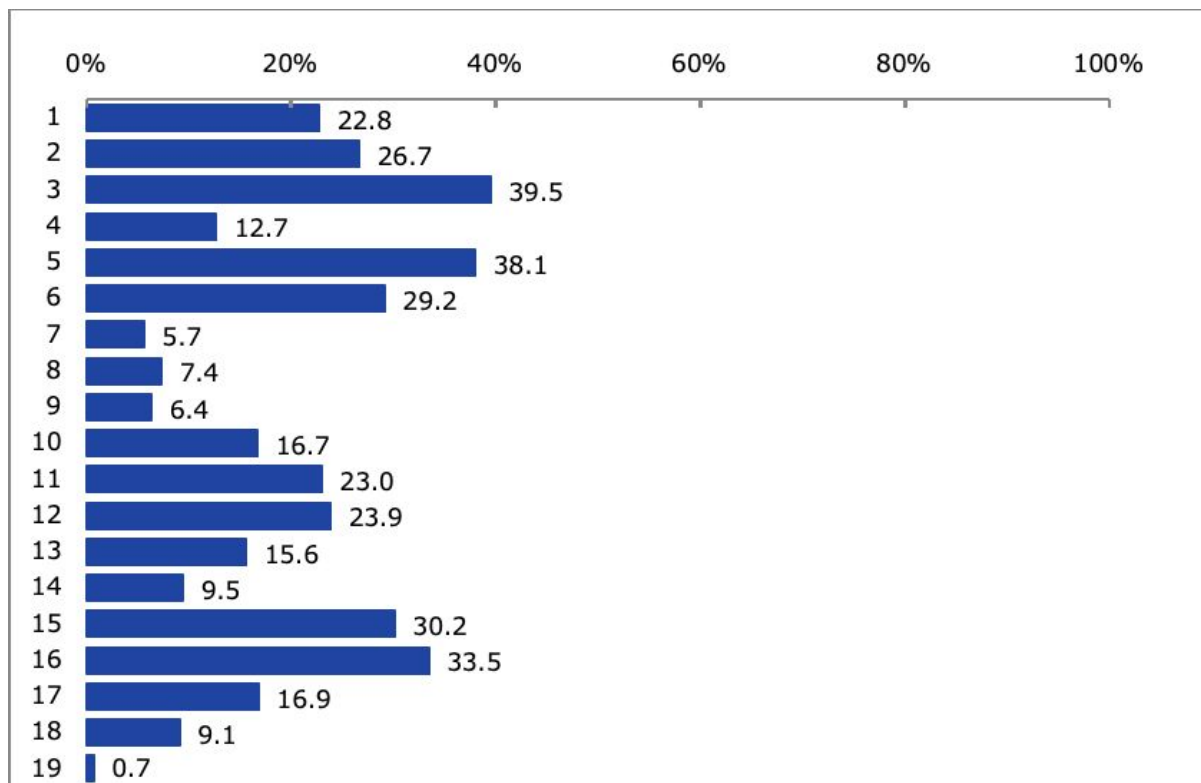
<調査結果>

Q1. 暮らしの中で、不要な使い捨てプラスチック製品や過剰包装のサービスが多いと思うことはありますか。



- ・「非常にそう思う」「多少そう思う」が全体の81.2%となった。
- ・「非常にそう思う」「多少そう思う」と答えた人の割合は、男性は78.0%、女性は84.4%で女性の方が高かった。
- ・年代別の回答では、70代の94%がもっとも多く、18~29歳がもっとも少ない70.5%となった。

Q2. Q1で「非常にそう思う」、「多少そう思う」とお答えの方にお伺いします。それはど
ういう製品やサービスについてですか。（5つまで）



- 1 野菜の包装（22.8%）
- 2 果物の容器や緩衝材（26.7%）
- 3 **肉や魚用のトレイ**（39.5%）（1位）
- 4 納豆などの容器（12.7%）
- 5 **菓子の個包装**（38.1%）（2位）
- 6 テイクアウト時の容器や包装（29.2%）（5位）
- 7 レジでビン類に緩衝材（ネット）をかけてくれるサービス（5.7%）
- 8 レジで、牛乳や豆腐などの冷たいものを薄い袋に入れてくれるサービス（7.4%）
- 9 レジで、肉や魚、お惣菜等を薄い袋に入れてくれるサービス（6.4%）
- 10 飲食店の店内利用で、使い捨て容器で提供されること（16.7%）
- 11 コンビニやスーパー等で提供されるお箸やスプーン、フォーク（23.0%）
- 12 ペットボトル製品（23.9%）
- 13 シャンプー、コンディショナー等の容器（15.6%）
- 14 飲食店での使い捨てのおしぼり（9.5%）
- 15 **通信販売の緩衝材や包装**（30.2%）（4位）
- 16 **ダイレクトメールやパンフレットなどのプラスチック製袋**（33.5%）（3位）
- 17 使い捨てのストロー（16.9%）
- 18 食品に入ってくる醤油や辛子、わさびなどの小さなパック（9.1%）
- 19 その他（0.7%）

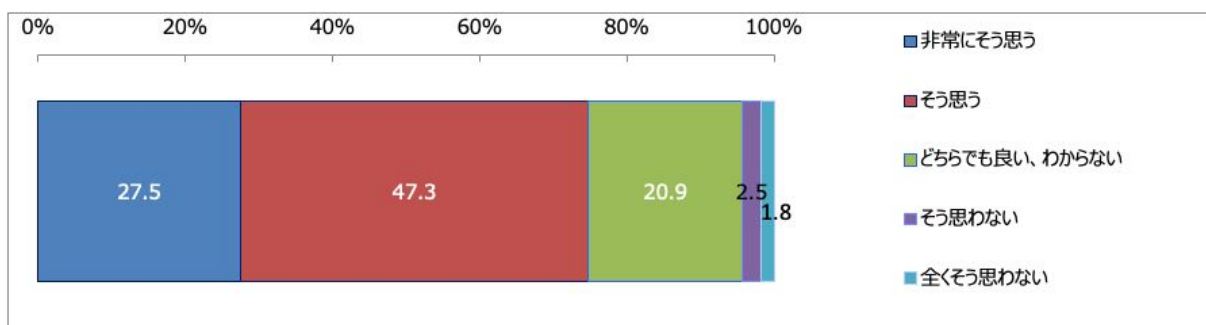
<その他記述回答>

ラベル、贈答品の包装など

・もっとも多い回答は、「肉や魚用のトレー」の39.5%、ついで「菓子の個包装」38.1%、「ダイレクトメールやパンフレットなどのプラスチック製袋」33.5%、「通信販売の緩衝材や包装」30.2%、「テイクアウト時の容器や包装」29.2%となった。

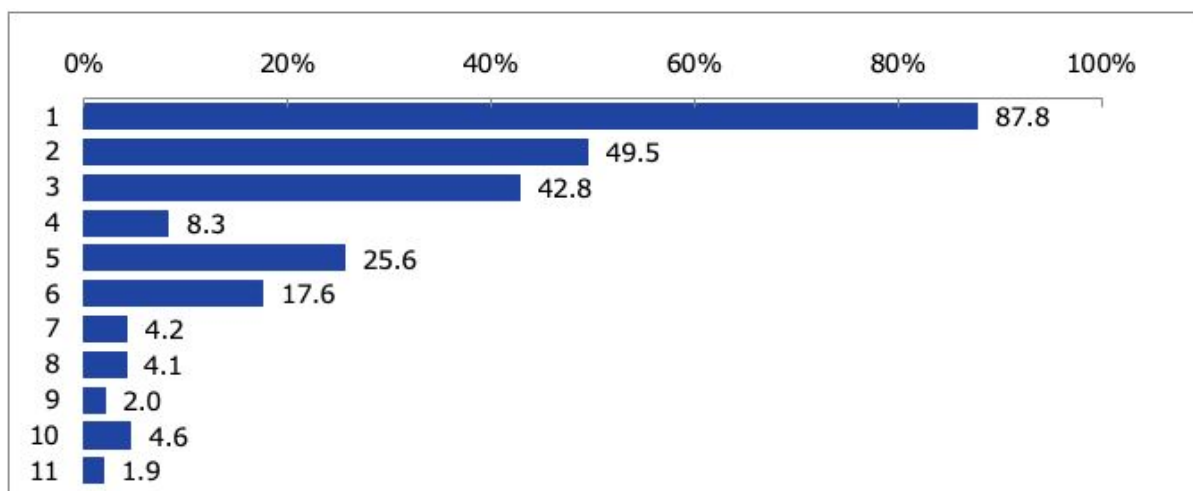
・もっとも少ない回答は、「レジでビン類に緩衝材（ネット）をかけてくれるサービス」5.7%、ついで、「レジで、牛乳や豆腐などの冷たいものを薄い袋に入れてくれるサービス」6.4%、「レジで、肉や魚、お惣菜等を薄い袋に入れてくれるサービス」7.4%となった。

Q3. もし衛生面、価格、利便性などに問題がなく、このような使い捨てプラスチックを使わないための選択肢がもっと身近にあるならば、利用してみたいですか。



- ・「非常にそう思う」「そう思う」が全体の74.8%となった。
- ・「非常にそう思う」「そう思う」と答えた人の割合は、女性は76%、男性は73.6%と若干女性の方が高かった。
- ・年代別では、70代がもっとも多く88.6%、ついで、30代の79.5%、60代の78.9%となった。
- ・「どちらでもいい、わからない」と回答した割合がもっとも高かったのは、18～29歳の27.7%、ついで、40代の26.8%だった

Q4. 普段のあなたの行動で当てはまるものを教えてください。（いくつでも）



- 1 マイバッグを持ち歩く（87.8%）
- 2 使い捨てのマスクではなく、リユース（何度も使える）マスクを使っている（49.5%）
- 3 飲み物を入れるマイボトル（水筒）を持ち歩いている（42.8%）
- 4 ペットボトル製品は買わない（8.3%）
- 5 使い捨てのカトラリー（割り箸、フォークやスプーン）をもらわない（25.6%）
- 6 使い捨てストローは使わない（17.6%）
- 7 カフェには、マイタンブラー（マイボトル）を持ち込む（4.2%）
- 8 飲食店等で提供される使い捨てのおしぼりを使わない（4.1%）
- 9 飲食店で食事などをテイクアウトする際は、自分の容器を持ち込んでいる（2.0%）
- 10 使い捨てのラップの代わりに、みつろうラップなどの何度も使える製品を利用している（4.6%）
- 11 その他（1.9%）

・「マイバックを持ち歩く」がもっとも多く87.8%、ついで「使い捨てのマスクではなく、リユース（何度も使える）マスクを使っている」49.5%、「飲み物を入れるマイボトル（水筒）を持ち歩いている」42.8%となった。

・男性の80.8%、女性の94.8%が「マイバックを持ち歩く」と回答。

・「マイバックを持ち歩く」と回答した人の年代別の割合は、60代、70代がもっとも高く、いずれも94.6%、ついで30代の89.2%となった。

・「マイバックを持ち歩く」と回答した女性は、30代から70代まではいずれも94%以上で、その中でも60代女性では100%となった。

・「使い捨てのマスクではなく、リユース（何度も使える）マスクを使っている」と回答した人の割合は、女性は58.2%、男性は40.8%と女性の方が高かった。

・「リユースマスクを使っている」との回答がもっとも多かったのは、70代の60.2%、ついで60代の53.0%だった。もっとも低かったのは、18～29歳の38.6%、ついで、40代の42.9%だった。

・「飲み物を入れるマイボトル（水筒）を持ち歩いている」と回答がもっとも多かったのは70代で51.2%、ついで30代48.2%だった。もっとも低かったのは40代の36.3%、ついで18～29歳が38.6%だった。

Q5. 新型コロナウイルス感染症の流行によって、以下のような製品について、何度も洗って使えるものは衛生面で不安だと感じますか。



・ 買い物袋

全体の70.1%が「何度も洗って使えるものは衛生面で不安を感じていない」と回答。

・ マスク

全体の59.7%が「不安に思わない」と回答。18～29歳は「不安に思う」51.8%が、「不安に思わない」48.2%をわずかに上回った。一方で、70代の69.3%が「不安に思わない」と回答した。

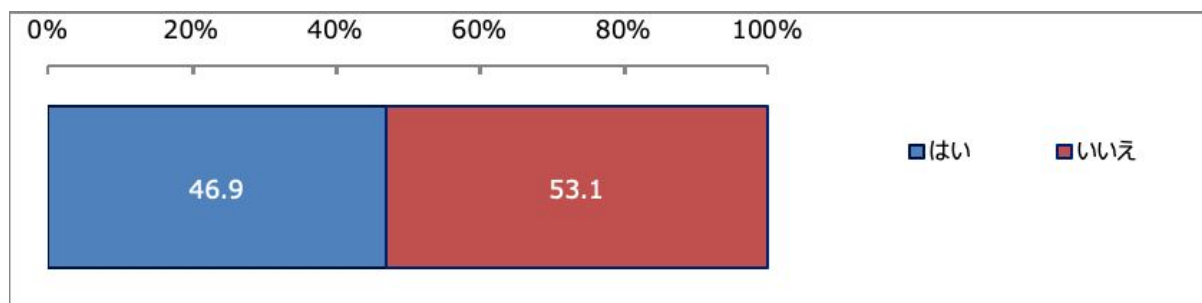
・ カフェの容器

全体の55.5%が「不安に思わない」と回答。18～29歳の女性の57.8%が「不安に思う」と回答し、「不安に思わない」の42.2%を上回った。60代女性でも同じ傾向が見られ、「不安に思う」が53.0%、「不安に思わない」が47.0%で「不安に思う」が若干高かった。

・ 飲食店の食器類

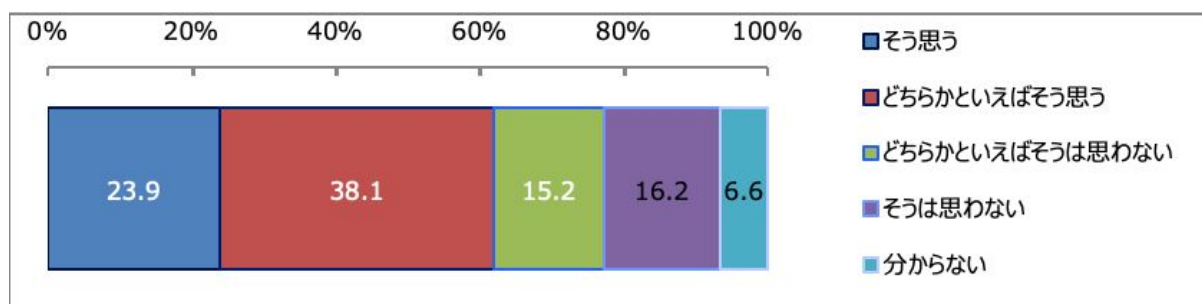
全体の60.0%が「不安に思わない」と回答。18～29歳の女性「不安に思う」55.4%がもっとも高く、ついで、40代の女性51.2%だった。

Q6. 欧州やカナダ、中国や韓国、台湾などでは、使い捨てプラスチック製の食器、ストロー、マドラーなどについて、いつまでと期限を設けて段階的に禁止する動きが広がっています。こうした状況を知っていましたか。



- ・ 「いいえ」が53.1%で「はい」46.9%を上回った。
- ・ 「はい」と回答した割合は、男性49.2%、女性44.6%で、男性のほうが高かった・ 「はい」がもっとも多かったのは、50代女性57.1%、ついで18～29歳と60代の男性54.2%、70代男性53.0%だった。
- ・ もっとも低かったのは50代男性36.9%、ついで30代女性37.3%だった。

Q7. 日本でも、レジ袋の有料化だけでなく、他の使い捨てプラスチック製品について、使用規制や有料化を進めるべきだと思いますか。



- ・ 全体の62%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答
- ・ 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答したのは、女性64.4%、男性59.6%で、女性の方が高かった。
- ・ 70代男性の80.7%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答し、年代別でもっとも多かった。一方、18～29歳の男性が48.2%でもっとも低かった。

<本件に関するお問い合わせ>

広報担当：城野千里 TEL: 080-6558-4446 Email: chisato.jono@greenpeace.org
 東京都新宿区西新宿8-13-11NFビル2F www.greenpeace.org/japan/
 グリーンピースは環境保護と平和を願う市民の立場で活動する国際環境NGOです。